

平成29年度第2回青森市健康福祉審議会地域保健専門分科会 会議概要

日 時：平成30年3月20日（火） 午後1時～午後1時50分

場 所：青森市保健所（元気プラザ）1F 会議室

出席委員：村松薫委員、加藤由美子委員、高谷和彦委員、成田祥耕委員、
成田憲雄委員、畑中和紀委員 《計6名》

欠席委員：なし

事務局：青森市保健部長 浦田浩美、
青森市保健所長 野村由美子、
保健予防課長 小形麻理、生活衛生課長 村本道則、
健康づくり推進課長 鈴木久美子、
浪岡事務所健康福祉課長 花田清志、
生活衛生課副参事 古川真人、健康づくり推進課副参事 柴田一史、
保健予防課主幹 嶋中幸希、保健予防課主幹 大澤真理子、
保健予防課主幹 福士一茂、保健予防課主査 白取和子、
保健予防課主事 竹内一貴、
生活衛生課主幹 山口真、
健康づくり推進課主幹 中村健、健康づくり推進課主幹 榊乃里子
《計16名》

会議次第

- 1 開会
- 2 青森市保健部長あいさつ
- 3 案件
(1) 平成30年度青森市保健所の主な事務事業（案）について
(2) 平成30年度青森市食品衛生監視指導計画（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

議事要旨

案件（1）平成30年度青森市保健所の主な事務事業（案）について

事務局（保健予防課長、生活衛生課長、健康づくり推進課長）から資料1に沿って説明があった。

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

○急病センターにおいて、歯科で受診を希望する方のデータはあるか。

・(事務局) データはない。

○自殺の内訳として、自殺未遂者は何回目の自殺行為で亡くなっているのか。自殺対策については、みんなで考え連携し、システムを構築していかななくてはいけない。

- ・(事務局) 自殺既遂者のうち自殺未遂歴の割合は、およそ女性3割・男性1割となっている。
- AEDについて、保有している団体等について把握しているか。
 - ・(事務局) 保健予防課では把握していない。
- 糖尿病の治療を中断している方の抽出はすでに行っているのか。
 - ・(事務局) 今後指導する方については、「青森県糖尿病性腎症化予防プログラム」を踏まえ、対象者の選定についても今後検討していくこととしており、まだ抽出していない。
- 病院群輪番制病院について、近藤病院がなくなったが、その後はどうなっているのか。
 - ・(事務局) 平成29年5月1日から青森新都市病院が引き継いでいる。

案件(2) 平成30年度青森市食品衛生監視指導計画(案)について

事務局(生活衛生課長)から資料2に沿って説明があった。

質疑応答

- ・意見等なし

その他

- 現在、食品衛生指導員は少なく、高齢化も進んでいる。HACCP導入の推進に向け、食品衛生指導員は重要だが担い手がない状況である。30代、40代の若手の増員を希望する。
- 糖尿病の重症化予防に関連して、青森市医師会で委員会を立ち上げる。青森市保健所に委員に入ってもらいたい。
- こども食育レッスン1・2・3♪事業について、食生活改善推進員だけでなく栄養士も入れていただきたい。